



令和6年(2024年)3月25日 公表
令和5年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

アカアマダイ (日本海西・九州北西部)

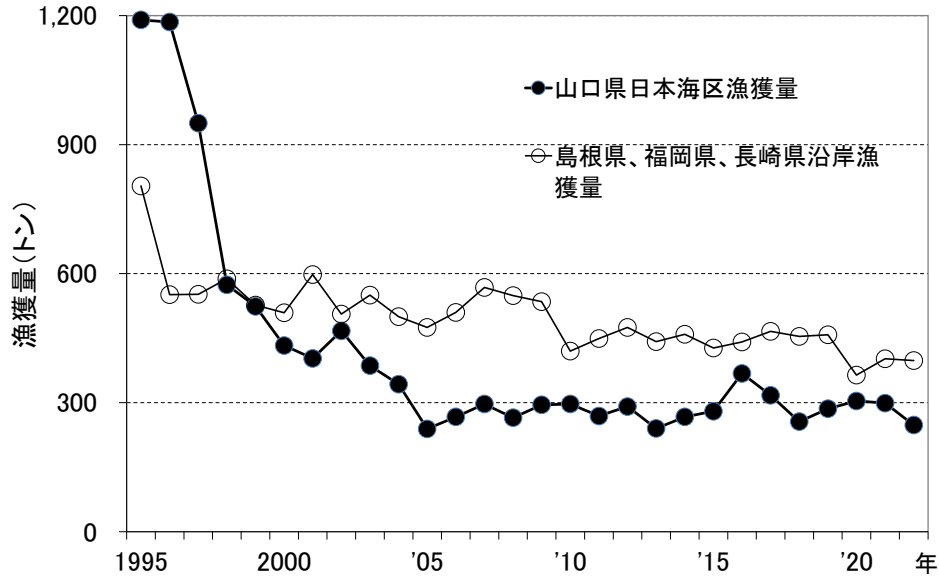


図 あまだい類山口県日本海区漁獲量及び島根県、福岡県、長崎県沿岸域の合計漁獲量 (漁業・養殖業生産統計年報) の推移

【漁業】アカアマダイは主にあまだい延縄によって周年漁獲されるほか、見島周辺海域では春季を中心に釣りでも漁獲される。主な漁獲体長は 29~36cm (3~5 歳) である。

【漁獲量】山口県日本海区の漁獲量は、1999 年の新日韓漁業協定および 2000 年の新日中漁業協定により日本の経済水域が確定して以降、漁場が対馬周辺~日本海南西海域に縮小した影響で大きく減少し、2005 年以降は 200~300 トン台に低迷している。

【資源状態】山口県はえ縄の CPUE が 2000 年代前半には低位と中位の境界付近にあったと判断され、2022 年にはそれよりも少なくとも同等以上にあること、島根県と長崎県のはえ縄の CPUE および沖底 2 そうびきの標準化 CPUE も増加傾向にあることから、資源水準は中位と判断した。また沖底 2 そうびきの標準化単位努力量あたり漁獲量 (CPUE)、島根県はえ縄の CPUE、山口県はえ縄の CPUE、長崎県はえ縄の CPUE の相乗平均から算出した資源量指標値の最近 5 年間の推移から、資源動向を増加と判断した。

資源の水準・動向		2022 年漁獲量 (トン)	2024 年 ABC target (トン)	2024 年 ABC limit (トン)
水準	動向			
中位	増加	654	513	641